

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースがバリアフリーで児童がのびのびと過ごしたり、天候不順の際も室内で走ったり、運動を行うことが出来る。遊びを通して他者との関わり方や生活スキルを自然と学ぶことが出来る。	一人でじっくり遊びたい、他の子と関わりたいといった児童一人ひとりの特性に合わせた活動を提供することが出来るよう、遊びのきっかけ作りや環境調整に取り組んでいる。	児童一人ひとりの特性を職員全体で共有し、その日の本人の様子でも活動も変化していくので日々柔軟に対応していく。
2	季節ごとに壁面の飾りつけを変えたり、児童が飾りつけを制作し、創作活動が出来る。季節の変化を視覚的にも分かりやすく感じ取ってもらえる取組みを行っている。	制作の際、色塗りが得意、貼ることが得意といった一人ひとりの得意分野を伸ばし、達成感を感じてもらえるような工夫を行っている。	取組みを継続していきながら季節の変化を感じてもらえるよう取り組んでいく。
3	送迎時の申し送りや連絡アプリでのやり取り、面談時に直接のお話等で、利用している児童やご家族、ご兄弟のお話も交えて日々のたんぼぼでの関わりに活かせること、ご家庭での支援の方法を一緒に考える事が出来る。	連絡アプリでの日々の活動報告に写真を添付し、より様子を分かりやすく伝えている。	気になったことを気兼ねなく話してもらえるよう対面やメッセージでのやり取りを活用していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童が崩れた際のクールダウンスペースが少ない。	現状事業所内では一ヶ所しかなく、複数名崩れてしまった際、気持ちの切り替えに時間を要し、当人に辛い思いをさせてしまったり、他の子に崩れが伝染してしまう事がある。	普段過ごしている広いスペースをパーテーションやカーテンを用いてスペースを区切り、落ち着ける環境を作れるような対策をとっていく。
2	肢体不自由の児童への設備が不足している。	バリアフリーではあるが車椅子から横になった際の活動の際は、簡易的なマットを床に敷いているのみで、ベッド等の設備は整っていない。	児童の体格や過ごし方に合わせた設備を整えたり、トイレや着替えの際は状況に応じて複数の職員で対応し、怪我なく快適に過ごしてもらえよう工夫を行う。
3	重度の子が多く、外出してのイベントや外食に制限がある。	職員の配置が厳しく、事故や怪我のリスクを鑑み、外出イベントを行えないことがある。	長期休み等で事前にイベントを行う日程を決め、職員配置を調整してイベントを行うことが出来るよう取り組んでいく。